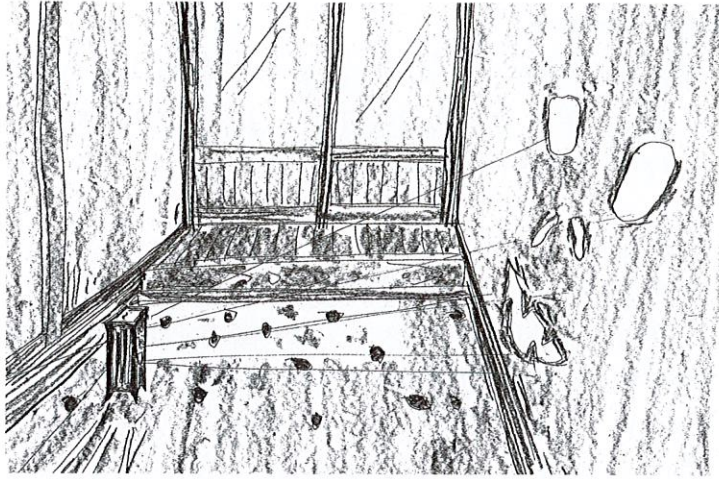


# の ある暮らし

秋の夜長。皆さんはどのように過ごされていますか。以前、「LEDキャンドル」をご紹介しましたが、今回は陶器の「デザイン灯籠」で夜長を楽しむ。というのはいかがでしょう。陶器の焼き・仕上げ方法はさまざまですが、赤松の灰で焼きしめ、自然の釉薬で仕上げられた灯籠は、上質さと素朴さが魅力です。灯すと花びらや木の実、鳥などのカタチに切り抜かれた窓から明かりがこぼれ、辺りを幻想的な雰囲気演出してくれます。特にアンティークな趣がある自然素材をふんだんに使った和風建築の住まいにマッチします。存在感のある素敵な光のインテリアです。

玄関先や土間などに飾ると足元をほんのりとした灯りで照らし、帰宅するご家族を優しくお出迎えします。  
例えば、残業や飲み会などで深夜に帰宅するお父さん… “家族は寝ていても、「あかり」だけは明るく！温かく！待っていますよ。” (誰だ「あかり」って？…知らないぞ。) [グラフィックデザイナー：D]

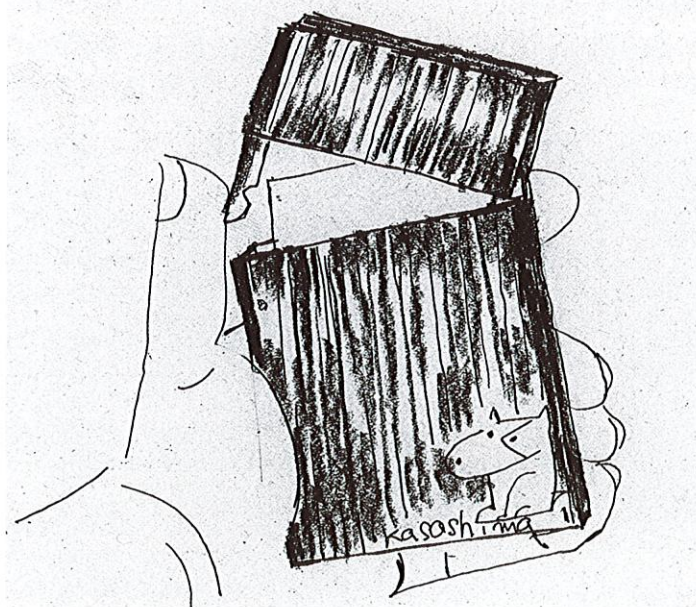


# 木 のある暮らし

私の名刺入れは木でできています。木の名刺入れを使い始めたきっかけは、美深の谷口木材の前社長にもらったからです。当時、谷口社長が木でできた自分の名刺入れをちらつかせていたので、帰り際に私がほしがり、奪い取ったような形でした。それから人と会うときなど事あるごとにその木の名刺入れを出して、開けて、差し出すと「おお～っ」という声とともに「作ったんですか?」「いいですね!」と相手から様々な声が飛び交い、木の名刺入れのインパクトの強さに驚いています。

そのうち、自分で作ってみようと思っても、無残に失敗に終わってしまったので、取引している木工作家さんに製作を依頼してみることにしました。頼んでみると気持ちよく引き受けてくれたので、カサシマの

ロゴを入れ、30個まとめて作っていただきました。その名刺入れに私の名刺を入れていつでも手の届くところ、あちこちに置いています。そして、知り合いに見せつけては「いいですね!」と言わせています。そのような反応があったときは、そっと耳元で「1個プレゼントしますよ」と僥倖そうに決め台詞を言っています。



〒007-0891  
札幌市東区中沼西1条2丁目2-5  
電話：011-792-4388  
FAX：011-792-4377  
E-mail: mail@kasashima.co.jp



間伐で未来につなぐ北の森

# カサシマ通信



第11号  
平成28年9月14日  
発行元/カサシマ工務舎

## お花と雑貨のお店

ふうちそう

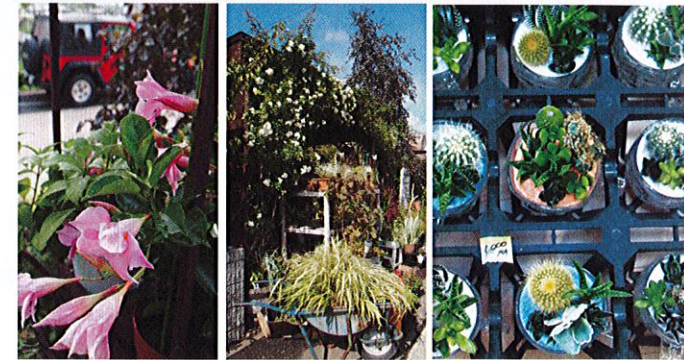
～北区中沼『ガーデニングショップ風知草』～

当社の事務所から徒歩2分ほどの距離にある風知草さんは、季節の花々やガーデニング用品、かわいい雑貨などが並ぶお花屋さん。店内も店外も色とりどりのお花や鮮やかなグリーンが所狭しと並んでいます。毎日愛情をかけて育て、丁寧にお手入れされているので、どの草花もいきいきと、嬉しそうな表情を見せてくれました。「いつもお花が咲いている素敵な庭をつくりたい」というときもぜひご相談を。(今年の営業は10月末まで。来年は4月から営業開始予定です)

■お店からのお知らせはブログ&facebookで!  
〈ブログ〉<http://mikey1977.blog.fc2.com/>  
〈facebook〉<https://m.facebook.com/fuuchisou>  
TEL: 011-792-3938  
営業時間: 10:00～16:00 (水・日定休)  
※営業時間、定休日は時期により異なります。



東区中沼西1条1丁目13-21、モエレ天然温泉たまゆらの杜裏にある風知草さん。看板が目印



ただいま秋のセール中! 室内で育てられるグリーンを置くと、冬の間も部屋の雰囲気が明るくなる

## アフターレポート

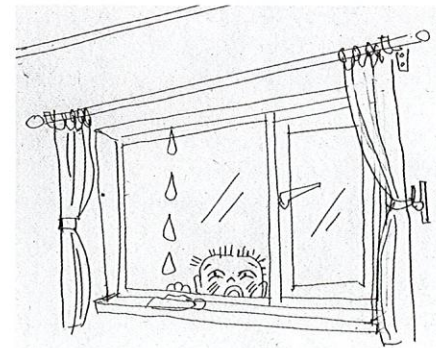
「知り合いの家が雨漏れしている。建てた会社はすでに廃業していてアフター工事をしてもらえないので困っているらしい」と早川部長のご友人から相談がありました。

早川部長と共に現地に行って状況を詳しく聞いてみると、すでに雨漏れの原因についての調査は済ませているとのこと。分厚い調査資料を見せていただきました。今は修繕の工事をしてくれる会社を探している段階だそう。家を建てた会社が倒産・廃業した場合、瑕疵保険に加入していれば違う会社がアフター工事等を行うことができるので、当社に修繕工事を任せていただき

い、と申し出ました。(ちなみに、調査費用も瑕疵保険から出ます)

実際の施工にあたり、私から施主様へ工事内容や工程の説明をしてから工事を進めました。工事は無事に終わり、今後の点検、アフターフォローのお約束をして完了いたしました。

今回は原因がはっきりしていたので調査する必要もなく非常にスムーズでした。お施主様からのお叱りも一回もなく、とてもさわやかに終わりました。



# カサシマ工務舎

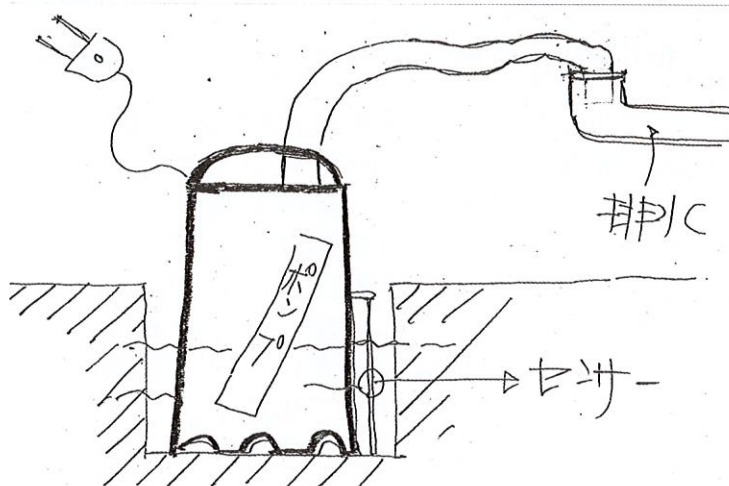
<http://www.kasashima.co.jp/>



# 大雨のあとは

台風による大雨が続いています。水はけの悪い土地の場合、床下が湿っぽくなり、カビ臭さが出たりします。そもそも夏は特に湿気が多く、床下の湿度がとても高い状態です。そうした場合は、床下に除湿器を設置すると改善されます。また、新築の場合、大雨によって家の周りの地面が陥没したようになることがあります。雨により土が締まって密度が高くなっただけなので、基礎の強度に問題はありません。現在公開中の町家モデルハウスは、床下のない（ほぼ地面と床の高さが同じ）タイプなので、排水管等を管理するためのピット（深さ約45cmほどの床下の作業空間）を設けています。このような造りだとどうしても大雨になる

とピット内部の一部に水が浸入してきます。時間を置くと水は引いてなくなりますが、それでも臭いなど残るのでモデルハウスでは今年の春からピット内部に水中ポンプを導入しました。ピット内に水が入るとセンサーが作動して自動で水を排出。ピット内に水が溜まらない状態で維持管理ができます。



イラスト：ノンコ（消しゴムはんこをモデルハウスで販売しています）

先日、人生で初のテレビ出演をしました。HBCテレビの「金曜ランチ」（9/9放送）という番組内で、当社の紹介をするためです。事前に段取りを打合せ、写真パネルを作成し、紹介文を考えました。当日は放送の2時間前から打合せ、その間も僕は出来るだけ大きい声がかまないように練習、練習。わきあいあいと雑談をしながらも緊張は高まります。顔が脂でテカるのを防ぐためちょっとしたメイクと髪型のセットをしてもらい、テレビ局のスタッフさんがネクタイも直してくれて、かなりピシッと決まりました。本番が近づくにつれ、ドキドキしてきましたが「会社をアピールするチャンスだ！ 精一杯頑張るぞ！」と自分に言い聞かせ、心を落ち着かせます。いざ本番。アナウンサーに話を振られた瞬間、頭から色んなものが吹っ飛び、1～2秒ほど沈黙してしまいました。オンエアをご覧いただいた方はわかると思いますが、その沈黙の間、僕の頭の中はいわゆる真っ白です。ふと我に返りなんとか紹介を終えましたが自分の中ではかなり危ない状況でした。短い時間ではありましたが終わってみれば良い経験。このような機会を作ってくれた関係者の皆様にはとても感謝しています。有難うございました。



# おれづれ日記

# 補助金情報

先日、小樽市で介護保険を利用した住宅改修を行いました。同様の制度は札幌市にもあります。

■札幌市HP  
「住宅の改修（バリアフリー化など）」  
<http://www.city.sapporo.jp/koreifukushi/jyutakuka/reform.html>

■対象  
要介護または要支援の認定を受けた方が、身体の状態に合わせて小規模な住宅改修を行った場合の費用のうち、申請により負担割合に応じて9割（または8割）分の支給を受けられます。（改修箇所、改修内容についてはケアマネジャーへ相談。また、市の承認が必要です）

- 対象工事
- ①手すりの取付け ②段差の解消
- ③床の材料変更 ④扉の取替え
- ⑤便器の取替え

転倒防止や車椅子対応の段差解消、お風呂や階段などへの手すりの追加、介護がしやすいお風呂やトイレなどに改修をすることで、家庭内での事故も未然に防ぐことができます。住み慣れた家がさらに暮らしやすい家になるでしょう。



# 職人のこだわり ~カーポート~

当社駐車場に展示用のカーポートをつくりました。8本足のニドムが1台用、4本足の4WDカーポート、4本足の2台用カーポート、サイズがコンパクトな軽自動車用カーポートの4種類です。木材を丁寧に組んで造ったカーポートや物置は、木の家にぴったり。色、デザイン、大きさなど、好みに合わせて造ることができます。



塗装はお客様から教わった塗料の「ウッドロングエコ」を使用。これは木を酸化させて独特の風合いを出す塗料です。塗ってすぐは色が出ませんが、一週間ほどすると発色してアンティークな表情になります。原料には鉱物・植物・酸化鉄・ハーブなどの天然成分を使用しており、土壌汚染、水質汚染をしないので安心して使えます。興味のある方は当社駐車場にあるカーポートの実物をご覧ください。